

SDGs方針	マテリアリティ			定義	SDGs方針	マテリアリティ			定義	成果目標 (2030)	2026年度中間行動目標進捗 (毎年更新)
	目的	ゴール	重点課題			目的	ゴール	重点課題			
ものづくり業界の責任を果たし、社会の選択肢を広げられる企業へ	サステナブルなものづくり		① 循環型ものづくり体制の構築	サステナブルな選択肢を世の中に提供するために、発想から発送まで、循環したものづくり体制を構築	サステナブルなものづくり		① 循環型ものづくり体制の構築	サステナブルな選択肢を世の中に提供するために、発想から発送まで、循環したものづくり体制を構築	飲食/化粧品/ホテル業界に対して、恒常的にアップサイクルができるプラットフォーム SUS cycleを構築	・対応素材の拡充(卵殻・米・もみ殻・竹・コーヒー粉など) https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000002289.000032175.html https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000373.000032175.html	
			② 廃棄問題軽減	生産過程の不用品や不良品、納品商品の大量廃棄による環境汚染を軽減するために、廃棄物を再利用したサービスを構築			② 廃棄問題軽減	生産過程の不用品や不良品、納品商品の大量廃棄による環境汚染を軽減するために、廃棄物を再利用したサービスを構築		廃棄物を利用した商品販売を通じて、地球にどのくらい良い影響をもたらしたか数値化	・大手企業と協働で循環型ものづくりを実現、事例 2つHP掲載 ▼株式会社伊藤園様、日本航空株式会社様 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000002240.000032175.html https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000239.000032175.html
			③ 環境汚染軽減	過剰梱包や輸送による環境汚染を軽減するため、エコな梱包の企画・開発やCO2排出量の削減に取り組む			③ 環境汚染軽減	過剰梱包や輸送による環境汚染を軽減するため、エコな梱包の企画・開発やCO2排出量の削減に取り組む		(1)サステナブル梱包の納品件数を全体の 10%へ (2)一人当たり電気使用量を削減 (3)国際認証を取得した提携工場との取引を増加	・SUS CYCLE より、アメニティアップサイクルサービスを開始 https://sus.i-goods.co.jp/suscycle ・ADRAJapanへ、オリジナルグッズの制作過程で発生する廃棄サンプルの一部を寄付
	企業のSDGs推進体制を支える新規事業づくり		① メディア発信	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsに関するメディア発信を実施	ものづくり業界の責任を果たし、社会の選択肢を広げられる企業へ	企業のSDGs推進体制を支える新規事業づくり		① メディア発信	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsに関するメディア発信を実施	自社ウェブサイトを有力情報メディアへ	・SUSPROコラム全93件配信 https://sus.i-goods.co.jp/columns ・「サステナブル アメニティ ホテル」「ホテル エコアメニティ」「竹 SDGs」など、約50のKWで検索順位 1位を獲得 ・「ホテル SDGs」「アパレル SDGs」「化粧品 SDGs」など、企業向けSDGs KWでも検索順位 1位を獲得
			② ものづくり支援	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsなものづくり支援を実施				② ものづくり支援	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsなものづくり支援を実施	(1)エコ素材の取り扱いを100種類以上へ増加(2021年度20種類) (2)SDGs関連の受注*割合を15%以上へ(2021年7%)(*エコ素材を用いたフルオーダー制作事例、OEM事例) (3)ホテル向けエコアメニティの取り扱いを100種類以上へ増加(2024年度37種類)	・年10回、15日間の海外工場視察を通じて、エコ素材候補の調査を実施 ・お客様に素材の候補として 25種をご案内 ・サステナブルなものづくりを 1300件以上納品
			③ 組織支援	他社の持続可能な組織づくりを支援する新規事業の構築				③ 組織支援	他社の持続可能な組織づくりを支援する新規事業の構築	なし (1)プロモーション領域事業を構築 なし	・異業界トップ層の企業のファン化やシェア率・継続率増加に貢献するトータルプロモーションの受託 キャンペーン総合受注、店頭販促、イベント企画、ブランド開発、コラボ・タイアップイベント企画、 BPO受注までを、フルオーダー事業部と連携し、一気通貫で実施。顧客企業の成果創出を牽引
	パフォーマンスを発揮できる環境づくり		① 働きがいの向上	第三者機関を持って働きがい指標を定量的に調査 さらに社内の生産性向上のための施策を推進	パフォーマンスを発揮できる環境づくり	パフォーマンスを発揮できる環境づくり		① 働きがいの向上	第三者機関を持って働きがい指標を定量的に調査 さらに社内の生産性向上のための施策を推進	(1)5年連続「働きがいのある会社」認定 (2)社内のDX化の更なる推進	・2026年度GPTW主催「働きがいのある会社」ランキング 従業員数25～99人部門 第7位を獲得 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000357.000032175.html ・5年連続ランクイン ・推進チームの確立と実践的な研修ロードマップの運用 専門チームを発足し、数ヶ月に及ぶ体系的なカリキュラム(計 12時間の動画受講、計 6時間のワークショップ、月例ミーティング)を受講。得た知見をもとに業務自動化や社内施策の改善を推進 ・社内勉強会によるナレッジ共有 勉強会(IGU)を通じて具体的な導入事例や活用ノウハウを全社で共有し、組織全体の生産性向上を加速
			② 働きやすい環境づくり	心理的安全性の高い職場環境の構築とカフェスペースでの健康推進を通して、「心も身体も健康」な環境を構築				② 働きやすい環境づくり	心理的安全性の高い職場環境の構築とカフェスペースでの健康推進を通して、「心も身体も健康」な環境を構築	(1)心理的安全性の高まる組織づくりで離職率 10%以下を維持 (2)アイグッズカフェを通じた健康経営の推進	・毎週月曜日に、全社会議を実施 ・IGU(勉強会)を週3回実施 ・経営方針発表会を年 2回実施 ・会社アンケート調査 / ストレスチェッカー を毎月実施
			③ 女性の活躍	女性が活躍できる環境を整える				③ 女性の活躍	女性が活躍できる環境を整える	(1)管理職社員の育成体制の構築 (2)ライフステージが変化しても働きやすい制度・環境構築	・健康食品の調査と発注リストの見直しを実施 ・カフェの取り組みを見える化するボードの作成 ・フードロス対策の一環として、社内で発生した余剰食材を廃棄せず、メニューへアレンジして再提供
	パフォーマンスを発揮できる環境づくり		③ 女性の活躍	女性が活躍できる環境を整える	パフォーマンスを発揮できる環境づくり	パフォーマンスを発揮できる環境づくり		③ 女性の活躍	女性が活躍できる環境を整える	(1)管理職社員の育成体制の構築 (2)ライフステージが変化しても働きやすい制度・環境構築	・年2回の育成研修の実施 ・社内託児所利用 ・ライフコースへの異動実績あり ・『第七回 WOMAN'S VALUE AWARD』サステナブル部門 優秀賞を受賞 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000349.000032175.html